

地域版日本健康会議について

令和元年7月19日



日本健康会議について

- 平成27年7月に、「**日本健康会議**」が発足。
 - ・ 保険者等における先進的な予防・健康づくりの取組を全国に広げるための**民間主導の活動体**。
 - ・ **経済界・医療関係団体・自治体・保険者団体のリーダー**が手を携え、**健康寿命の延伸**とともに**医療費の適正化**を図ることを目的。
 - ・ メンバーは、**各団体のリーダーおよび有識者の計32名**で構成。
- **予防・健康づくりの目標を設定（8つの宣言）**。進捗状況をHPで公表。
（※）データポータルサイトで「見える化」し取組を加速化
- 4回目となる本年度（**日本健康会議2018**）は、**平成30年8月に開催**。
- さらに今後は、**地域版の日本健康会議**の開催も進めていく。

「健康なまち・職場づくり宣言2020」（8つの宣言）

宣言1	予防・健康づくりについて、一般住民を対象としたインセンティブを推進する自治体を800市町村以上とする。
宣言2	かかりつけ医等と連携して生活習慣病の重症化予防に取り組む自治体を800市町村、広域連合を24団体以上とする。その際、糖尿病対策推進会議等の活用を図る。
宣言3	予防・健康づくりに向けて、47都道府県の保険者協議会すべてが地域と職域が連携した予防に関する活動を実施する。
宣言4	健保組合等保険者と連携して健康経営に取り組む企業を500社以上とする。
宣言5	協会けんぽ等保険者や商工会議所等のサポートを得て健康宣言等に取り組む企業を3万社以上とする。（2018度より目標を1万社から3万社に上方修正。）
宣言6	加入者自身の健康・医療情報を本人に分かりやすく提供する保険者を原則100%とする。その際、情報通信技術（ICT）等の活用を図る。
宣言7	予防・健康づくりの企画・実施を提供する事業者の質・量の向上のため、認証・評価の仕組みの構築も視野に、保険者からの推薦等一定の基準を満たすヘルスケア事業者を100社以上とする。
宣言8	品質確保・安定供給を国に求めつつ、すべての保険者が後発医薬品の利用勧奨など、使用割合を高める取組を行う。



日本健康会議2018の様子
（平成30年8月27日開催）

日本健康会議 2019

日時：2019年8月23日（金）11:00～16:00（受付10:30～）
会場：イイノホール&カンファレンスセンター

第1部（11:00～13:00）

1. 開会
2. 主催者挨拶 日本健康会議共同代表 日本商工会議所会頭 三村明夫
3. 来賓挨拶 厚生労働大臣（予定）、経済産業大臣（予定）、自由民主党総務会長 加藤勝信議員（予定）
4. フォトセッション
5. 保険者の取組状況の報告～4年目を迎えた「宣言」達成状況の概要～
(1) 「健康なまち・職場づくり宣言2020」達成状況の報告 日本健康会議事務局長 渡辺俊介
(2) 保険者の取組状況の報告全国健康保険協会 理事長 安藤伸樹、健康保険組合連合会常務理事 河本滋史、国民健康保険中央会理事長 原勝則
6. 地域での健康寿命延伸・健康づくりの推進 先進県の取組み 熊本県 蒲島郁夫知事、三重県 鈴木英敬知事
7. 日本健康会議 成果と今後の取組み 日本健康会議共同代表 日本医師会会長 横倉義武

第2部（13:45～16:00）

8. 通いの場等の活用による介護予防の推進 千葉大学予防医学センター教授 近藤克則
9. 上手な医療のかかり方に関する周知について（仮） 日本医師会副会長 今村聡、厚生労働省医政局長
10. 糖尿病性腎症重症化予防対策～さらなる展開とその評価～ あいち健康の森健康科学総合センターセンター長 津下一代
11. 健康スコアリングレポートの今後の展開 東北大学大学院医学系研究科教授 辻一郎
12. 健康経営優良法人2020に向けて 経済産業省ヘルスケア産業課課長

地域版日本健康会議の開催実績及び予定

平成30年

- 2月19日 静岡県「ふじのくに健康会議」
- 2月21日 宮城県「スマートみやぎ県民会議」
- 8月23日 大分県「健康寿命日本一おおい創造会議」
- 11月22日 高知県「高知家健康会議2018」

平成31年（令和元年）

- 1月25日 福岡県「平成30年度ふくおか健康づくり県民会議総会」
- 3月13日 福井県「ふくい健康会議」
- 7月8日 埼玉県「健康長寿社会の実現を目指して」
- 8月28日 佐賀県「さが健康維新県民会議2019」（予定）
- 9月6日 三重県「三重とこわか県民健康会議」（予定）
- 9月13日 大阪府「健活おおさか推進府民会議2019」（予定）

※今後も、県庁などと連携し、各地で開催予定。